

壯衣

劍

奇

賞

諸工名譜其

肆



字類譜名工雕

補遺	五	又	甚	彦	蓮	友	市	好	元
	卅一ウ	廿九ラ	廿七ウ	廿五ラ	廿二ウ	十九ウ	十五ラ	九ウ	シラ
卅四ラ	新	甚	豊	榮	武	千	與	定	盛
	卅二ラ	廿九ウ	廿八ラ	廿五ウ	廿三ラ	二十ラ	十六ラ	十ラ	二ラ
	八	庄	平	三	源	勝	辰	理	國
	卅二ウ	三十ラ	廿八ラ	廿六ラ	廿三ウ	二十ウ	十六ラ	十ウ	五ラ
	時	次	義	善	高	嘉	金	氏	富
	卅二ウ	三十ウ	廿八ウ	廿六ウ	廿四ラ	廿二ラ	十六ウ	十二ラ	六ラ
	因	彌	儀	傳	仁	喜	文	壽	秀
	卅三ラ	三十ウ	廿八ウ	廿七ラ	廿四ラ	廿二ウ	十七ラ	十三ラ	六ウ
	藤	幸	典	七	就	興	永	一	吉
	卅三ラ	卅一ラ	廿九ラ	廿七ラ	廿四ウ	廿二ウ	十七ウ	十四ラ	七ウ
卷之四	美	半	多	貞	茂	連	自	延	良
	卅三ウ	卅一ウ	廿九ラ	廿七ウ	廿四ウ	廿二ウ	十八ウ	十四ウ	九ラ

裝劔奇賞卷之四

浪華

稻葉

通龍

新右衛門著

元

元教

横谷氏稱新右衛門

水戸赤沼町住

元孚

大山氏

元教子

菊の長兵衛弟子として同く菊の名を揚、
 新右衛門と稱し、赤城軒と號す。水戸下町赤
 沼町に住人時、又江戸芝邊にも客居を、
 一およ、武者を彫る事、和漢ともに功者し、
 外賢、人仙人などの類、乘意風乃上なる、
 寫し、のびたにあり、その子孫甚だ奇癖

いふ石首蘭を多中^{ボニチウ}とやいなひて。甚^{セイ}斎^{サイ}と
たぐ^{タグ}とが〜

元珍^{ユヅメ} 古川氏 江戸馬喰町馬場住

元申 駒井氏 加州金澤桶町住
吉郎次と稱す。初聖壽^{シヤウジュ}といひて。判もぬなりと

元常 井上氏
甚助と稱す。久清弟子。後勝木氏喜り
從^{トモカ}ふ。取らるゝとして上子なり

元春^{ユヅメ} 江戸住

盛盛良 栗村氏

盛勝 栗村氏 金澤住
與四郎と稱す。後孫頭乘弟子。加州金澤住
を。上子なり。其彫むつゝとて。鑿^{タカ子}目深し

盛弘 栗村氏 金澤住
又四郎と稱す。後名備つと改め。又宗順^{ソウジュン}といふ。
右、工の弟子として。覺乘弟子なり。其作奇。藤^{フジ}と
て和^{ヤシカ}し。尤上子といふべし

治平と稱し。由^{ユウ}ともいふ。盛勝^{モリカウ}弟として。覺乘
弟子なり。其作兄と稱す。上子なり

盛 審

栗村氏 金澤住

清四郎と稱ど、盛弘弟、演乘弟子、是又上より

盛 征

栗村氏 金澤住

次郎三郎と稱ど、富久此弟より、古工弟子、其作きわまり其品高く、上よりより

盛 津

栗村氏 金澤住

金四郎と稱ど、盛審子より、程乘弟子なり、其作きわまりより、和より上よりより

盛 認

栗村氏 金澤住
認の字詳なり

善次と稱ど、盛津乃弟より、古工乃弟子なり、其

通按認の字

其どより事よりして、賞よりたより、是又父より
おとより上よりあり

盛 明

栗村氏 金澤住

治平と稱ど、盛弘子よりして上よりなり

盛 定

勝木氏 金澤住 象眼工

半次郎初典四郎と稱ど、勝木氏お家、後越中富山
師細工人の技持せし、上よりなり、奇素よりして活
機あり

盛 定

勝木氏 越中富山住

半次郎と稱ど、父よりして上よりなり

盛國

正阿弥 豫州松山住

鉄^ニ雲龍の縁頭^ヲ銜^ルなどあり。鑿^カ奇^ニ廉^ニ容^ナる^ル細工なり

盛直

奥州仙臺住

盛定

加州金澤象眼工

與之右衛門と稱ど。承應^{シヨウオウ}の以^テ伏^スより加州へ移る。福五十俵とむる勝木半二郎祖父なり

盛定

同上

與四郎と稱ど。同加州象眼師なり

盛定

同上

盛光

同與四郎と稱ど。加州象眼師なり

金澤象眼工

勘右衛門と稱し。後彫物師となり。其工^{セウ}漏^シ酒^ハろく上^ト多^ク富山^{トヤマ}侯^{トカウ}内^ノ細工^ノ人^トなり。盛定弟子家

盛光

八重と稱ど。加州金澤象眼工なり

盛次

同上

源大由と稱ど。同加州金澤象眼工あり

盛平

同上

伴右衛門と稱ど。同加州金澤象眼工なり

盛國

盛定弟子家

孫たつと稱ど加所金作象眼工なり

盛國

俗稱等同上後鐸工と云る

國

治

京佛光寺烏丸西入町住
後改治國

俗稱鉄屋傳兵衛と云鉄原堂師匠なり

國

正

京師の住姓氏未詳

國

吉

京河れ住姓氏未詳

國

重

平戸住人ト銘アリ又京師國重ト云銘モアリ偽銘
ニヤ詳ナラス

真鍮銅四分一なり初て紅夷画レ龍なり

彫出ク一流と云る

國

長

植村氏 京御池通富小路東入所住

俗稱升屋九兵衛と云。四代^{サキ}先野田忠左衛門弟
子なり

國 永 加州金澤住

次郎作と稱ど其姓未詳^{ナラ}寛永の頃乃人

加州より五拾俵をとりて象眼工なり彫物ハ
後藤琢乘^{ニナ}と學ぶと

國 久 十左衛門
國永子

國 久 十左衛門

國 廣 与右衛門

國 久 与右衛門

右次郎作弟子家

國 安 与三左衛門

平 國 三右衛門ノ名ノ頭類字ニ
アラ子氏其類ヲ以テ此ニ列ス

國 平 喜兵衛

國 平 与三右衛門

國 政 与三右衛門

國 長 八左衛門

國 忠 權左衛門

右並ニ加州金澤象眼工なり

富 久

桑村氏 加州金澤住

小四郎と稱と盛良此子よりて程乘弟子なり

富 祐 植村氏

佐兵衛と稱と植村高房同居の弟子なり

秀典

喜多川氏 江州彦根住

彦根彫初後宗典ト改入京師八幡町ノ
縁頭鐔小刀柄等ニ彦根彫と稱して一風あり
鮎子など精かゞどて縁の地金うとく山高か
ぬも谷へ能く鑿ゆきとてどてどてと
えゆりのなり彦根彫とてとてとて
此よとどなりと又とてとて
彦根新家中川北氏の内抱へ
となりて氏を喜多川と改と

秀隨

江戸住

矩隨風肉合彫なり俗稱姓氏未詳

秀永

大森氏

莫秀相領 夜禮なり口論ニテ武士やう果

江戸に住と

秀元

俱利迦羅龍十足獅子形を小刀柄ニ彫一人

秀知

俗稱姓氏未詳江戸の住

秀房

同上

秀次

植村氏 京師住

伊兵衛と稱と植村高房同居此弟子なり

吉 十郎 玉川氏

実名未詳チヨシヒサ美久弟子なり。常州水戸に住む。其作奇麗よきはよき、國風クニフウに修シユギヤウ行して

甚上シニなり。世アノコ普く志シを惜アライむ

吉 定 後藤氏 加州金澤住

才次郎と稱む。清二郎弟子として上りたり

吉 寛 山本氏

俗稱未詳江戸の住

吉 政

政隨風なり。俗稱未詳江戸の住

吉 久 正阿弥

平助と稱む。作州津山に住。上りたり

吉 次 赤尾氏稱ツバ小兵衛 江戸下谷池之端住
元祖ハ越前人

赤銅れをか 鑄ツバ工ツバ夫して。其名成得る人

是又一流とすべし

吉 長 赤尾氏 江戸住

吉 重 加州金澤住。姓氏未詳。以末流のり。ハヤギ吉重ヨシヒゲをりて氏とす。吉重何某など稱せり。今我志かり

五郎作と稱し。其兄を次郎作とす。並又実名をよむ。其子とて五郎作ゴロウサク次郎作ジロウサクと稱して。加賀彫ガハ彫ハれハ元祖ハとす。其子とて繪エを金カナ森モリ宗ムネ

和君の画工宗佐とて、寛永の頃加州に
候より五十俵成なるなり

吉則 庄九郎

吉國 孫右衛門

吉國 長右衛門

吉次 八大夫

吉平 善右衛門以上共加州金澤象眼工より
吉重弟子家

吉長 美濃住

吉兵衛 植村氏 京柳馬場二條上町住

俗稱升屋吉兵衛といふ宗峯弟子なり

吉兵衛 山氏 尾州住 冶鉄鋳名人

吉重 江戸住

良弘

栗村氏 加州金澤住

與三三勝と稱ぶ、克久弟といへ、古工養子となり、
上より、奇癖ありてや、そのなり

良克 稲川氏 江戸神田永富町住

直克子といへ、彫柳川直政を擬して父の作
なり

又、
なり

良寛 岩本氏 江戸麩町住
昆寛父

俗稱忠右衛門、後与八と改む、一ニ花押作

良榮 鈴木氏 江戸四谷鮫橋中町
俗稱金右衛門、岡村良榮又ハ鈴木寛次とも銘む

良堯 江戸住

良光ぬ

青柳氏稱榮五郎 江戸神田住

良邦ぬ

大月氏 京師小川夷川住

良久

市川彦助二十一世孫ト云ク
梅忠氏 同上

小鍛治末葉三十二世ト云ク 梅忠橘某ト銘ト

良盈

姓氏未詳 京師人

好榮

水野氏 加州金澤住

源次ト稱ト演乘弟子甚上なり

好春ぬ

長谷川氏

孫右衛門ト稱ト江府横山町壹丁目ニ住ル其
初ニセリノ毛鳳あり

定勝

種田氏 加州金澤住

吉之丞ト稱ト演乘弟子上手あり奇廉ト志
ほ〜〜〜なり

定時

姓氏未詳 俗稱平八 加州金澤住 象眼工
寛永年間三百石ヲ賜

定好ぬ

江戸住

俗稱姓氏等詳なり

定景

新右衛門 定次 吉六郎

右並ニ加州金澤象眼工なり

定寧

姓氏居住等未詳

定義ぬ

姓氏未詳 長常弟子 城州山科住
上手

理房

一云 理啓

島田氏 越中富山住

見^{ケニ}二庄次郎と稱し。勝木盛定弟子上^ニと

理直

島田氏 越中富山住

見^{ケニス}水庄大夫と稱む。上^ニ子^ク。鑿^アれ跡^トと

し^テん事なる彫なり

理玄

奈良氏 江戸住

理啓

姓氏居住等未詳 前、島田氏トハ別人

理房

藤木氏俗稱幸八 江戸京橋住
後、藤壽乘弟子 上手

京都藤木流泉三男弱冠の頃江戸ニ赴き武島一壽

養子となり後本姓ニ復む

氏安

勝木氏 加州金澤住

權吉と稱む。演乘弟子なり

氏春

勝木氏 加州金澤住

宇兵衛と稱む。氏安弟なり。後 富山侯御物

となり。姓を若林^{ワカバヤ}と改む。上^ニ子^クなり。奇麗^{キレ}と名

し^テ彫なり

氏廣

勝木氏 同上

吉郎名廣と稱む。氏春弟^ニ。鮎子^{アサヒ}の名人

氏春

若林氏 越中富山住 氏春子

氏家

勝木氏 加州金澤住

権大夫と稱む。象眼工なり。寛永の頃伏見より
まわり彫物を顕乗よまふと
拾五人扶持拜領と云く

氏家 同上

市兵衛と稱む。象眼工なり

氏家 同上
加州御細工人

同く市兵衛と稱む。象眼工なり。後又此城金子
とありため彫物師となれ

氏屋 同上

市郎右衛門と稱む。氏家此弟。象眼工と。彫物
をも学ぶ。他家を相續と

氏喜 同上

市之丞と稱む。彫物上も。まご奇。乘よ志を
ら。さ依なり。是も此ハ象眼工なり

氏宣 同上

武之丞と稱む。象眼工なり。永清の弟

氏永 喜兵衛
氏長 喜兵衛

氏次 六郎
氏清 覺兵衛

氏賢 覺之丞
氏宗 三郎

氏吉 権之丞
氏平 八郎兵衛

氏次 圓七
後彫物工なる
氏安 吉郎兵衛
氏宗弟

氏安 吉郎兵衛

氏安

吉郎兵衛

氏安 推吉

氏照

若林氏春と改彫物工と成
推吉弟なり

氏照 吉郎兵衛 氏春弟之
彫物師となる

氏信

氏屋弟子

氏忠 八太夫

氏咸

治兵衛

右並に加州金澤象眼工なり其姓勝木或ハ

若林等詳ならず猶他姓の人も入りませり

よや、くす、くハ、まき、か、と、

氏直

稱正阿弥市左衛門 阿州徳島住

氏安

京師正阿彌弟子 阿波象眼鐸ノ始
平田氏梅與八郎 阿州徳島住象眼工
氏直子

壽

壽孝 武島氏

江戸住

住居通子あり一子あり

壽新



俗稱姓氏居住等未詳 新ハ朝ノ篆字 翰ノ省 文ナル

人形ノ肉合彫象眼きぬいよて水戸彫此
のなり

壽永

奈良氏

江戸神田御玉が池ニ住ス

三長次(おんモ)

善三と稱む利永弟子なり

壽秀

保井氏

京都住

俗稱柏屋平右衛門といふ虎平弟として古川佐兵
衛弟子なり

壽方

池田氏

薩州住

壽昌

俗稱姓氏居所等未詳

壽軌

江戸住

姓氏俗稱未詳雲梯堂と辨るゝはげまを彫なり
山洞の獅子など討つて又年々といふごとく赤銅地
がひよく色張らるるてりてりてり

壽春

江戸住

壽治ト云モ有上ト作モシ永春ト又別人ト名人也

一

壽

武島氏

一壽石取ト云長島氏云

通壽石取ト云長島氏云
二代の家老也

孫大内つと稱む後藤通乘弟子よりて名人也

隣

鈴木氏

江戸住

賀

山崎氏

京御灵通次ト云住

現在

仁左衛門と稱む同名五代各上ト云其先後藤
就乘弟子

保

姓氏未詳

尾州名古屋長島町住

六郎之儀と稱む京師升屋小兵衛弟子

宗

阿田氏

薩州住今ヨリ六十年許ト云已前ノ人ト云

葉軒


京都住


姓名等まてて詳なり彫ハ奈良風なり

一 之 澤氏 貫齋ト號ス 居住未詳

一 保 姓氏未詳 大坂内本町善菴筋西へ入

俗稱井筒屋文治 越後齋ト稱ス

一 德  过氏稱源太夫號藍水堂 江州國友村住

一 高  姓氏未詳 號松榮舍 江戸住

一 延常 姓氏未詳 武州玉川稻毛住

延秀 熊木氏 京富小路押小路下

俗稱八文字屋市郎兵衛トシテ鑄金トシテ上鍍金ノ師ナリ

市市右衛門

後藤氏 加州金澤住

実名未詳 後藤顯乗弟子トシテ上ノト賞セリ 作ナリ 手彫奇麗品ト亦高

市左衛門 福井氏 同上

実名未詳 後藤悦乗弟子ナリ 手作トシテ其 志向トシテ古色トシテ上ノト稱ス

市郎右衛門 田中氏 薩州住

実名未詳 江戸後藤家弟子トシテ今より八十年 所已前の人トシテ上ノト

市平 大月氏 尾州名古屋末廣町住

市郎兵衛 山田氏 肥州長崎住
卷之四 芝翠館

市郎兵衛

山田氏 肥州長崎住

実名未詳 廣東鏢乃彫工なり

市右衛門

津田氏 京都住

世々津田縁頭とつゝ是なり。地磨無銘りして水と
鷲サギさうに麻秋の野と馬ウマ小草と牛等ウシまご志願シヨクなり

瓜顔ウラハシあり

市郎左衛門

川上氏 阿州徳島紙屋町住
川上半十郎子なり

與

與市

大森氏 初重光ト云 江戸淺草住

與兵衛

植村氏 升屋と呼 京御幸町二條下凡所
宗峯弟子

辰

辰政

奈良氏 江戸神田住

忠左衛門と稱む。利永トシナガ弟子

辰房

奈良氏 江戸住

金平と稱む。你五八弟子なり

辰尾ヲ

丹州西龜山人

表刺奇賞 卷之四 與辰 廿六 芝翠館

金 家

其姓未詳 伏見住

山水成風予一流く或ハ込よ小鳥などの景色甚く
事よをねりむと下絵等おとゆうう巧めむ
う宗砌法師三井寺の遊びてゆげくよ海を
ろあるこのまうれと口禱しとく琵琶乃森
漫しををあかすまにのせむ木間よりとあか
ちの巧める風雅の旨とゆらとりよべ今金家
此工も此致をおびて漸よ賞成益りの名工乃
庶幾まらふとて

金 七

土屋氏 加州金澤住

金 敦

高尾氏 加州金澤鍵町住

実名未詳 栗村克久弟子よりして上りなり
吉丸浦つと稱む甚七の孫よりて梅村助之郎の
弟子なり 奇癖ありて教致あり上り

文 水

吉田氏 京迎衛殿北口町住
庶乗弟子 初野村六兵衛ト稱ス

名人なり但一生銘を切らや若銘ありの贋く

文 治

實名姓氏共未詳 尾州御金具師
上手なり

文 次郎

三文字屋ト云 京御幸町姉小路上

永

永峯 田

姓氏未詳

京綾小路二住

次郎三と稱む其父も永峯といひて初ハ富小路押小路上ル所ニ住セリ其彫成スルニ甚ク奇麗ニシテ細密ナル事ニ妙ナリ此ニ武者人形などハ白ハ成スルニ其面貌もてこぼるニ似たり海不リニともなく巧ナルむづかられキ名を榮ら

永清

勝木氏後田澤ト改

加州金澤象眼工

氏屋弟ニシテ加州清細工人上子ナリ凡加州此象眼工其も前ニシテ伏水より寛

永年中移成ありて 彦より清技藝をトシ

次弟ニ其家よりれニ才子成ニて今教

永政

三郎右衛門 百五拾石ヲ拜領ス

永重

四郎三郎 弥左衛門

永次

弥左衛門

永國

弥左衛門

永次

弥左衛門

永次

弥左衛門

右小市氏なり已下姓氏未詳

永良

勘右衛門

永良

勘右衛門

永久

七兵衛

永久

源左衛門

永信

六右衛門

永信

吉大夫

永吉

長左衛門

永吉

喜内

永清

勘六

永定 次助
永次 豊次

永光 半兵衛

永光 豊平

自厚

上村氏 加州金澤塩屋町住
厚ハ厚ノ字ナルヘシ

彦左衛門と稱ど。後藤友清弟子なり

自立軒

三宅氏名英充 江戸京橋南傳馬町ニ住
宗興弟子 毛利侯御抱ナル

けんそとめいこうして稱ど。工なり。さうじを。

児島氏 江戸人壽 附録ニ出 足所ありと。其志誠勵。今こよ

名人と呼ぶ。又とせり。其工ハ後篇ニ評せり。

友清

上村氏 加州金澤住

彦左衛門と稱ど。葉村宗順弟子。よみなり

友重

辻氏 加州金澤象眼工

助九郎と稱ど。辻山城守弟子。寛永年中伏

水より玉をり

友次

同上

三郎と稱つと稱ど。上りなり

友次

岡本氏 長州萩府住
藤左衛門と稱ど

友恒

中井氏稱善助 同上 鐔工ナリ

友清

八道氏 同上
市平と稱む

友直

河治氏 同上 鋸師ナリ
六右衛門と稱す
畑氏 作州津山住

友房

勘平と稱し父を勘七といふ堆朱彫ツギシエホリ外木彫
れ目費小刀柄ハシ類を作す事甚だ入事よ上り
なり塗師ヌシもよくせしむる人なり

友善

平野氏 常州水戸八丁目曲尺手町住
保平弟子 本藩御用工ナリ

伊左衛門と稱すもいぬハ両介といふ上り人すべ
て水戸彫ハ其品高きといふハあらずタビ以て
めていふにも結構ケツコウは仕立てるものよしてそ
のよきを得心トシレシをもちまてよくそのひそ

友喜

野村氏元祖

細工して紅梅のさうなるよそ色ハおとねと
そよハがしカねをさるがごとく

俗稱未詳江戸の人あれども阿州よりめさる

彼藩カクニよりく彫工御用をたむむと

友善

一柳氏 水戸曲尺手町住今江戸東叡山邊ニ寓ス
二代目也名乗父ト同シク氏異ハ政親ヲ師トス

友道

平野氏稱ス三右衛門ト 水戸曲尺手町住
友善ニ男

千友

千代氏 作州津山住
忠助と稱す

千川堂

姓名居住等未詳

鍔タガヤサシ刀木クラリシ櫛木等木柄師キツカシなり

喜世三郎

其姓未詳。若芝ト號スルヲ以テ、姓ノ如クナレテ、若芝喜左衛門トイフ。俗ニビヤクシウトイフ人アルハ詭レリ。

肥前長崎ノ人

唐画山水遠景ハ人物或ハ風竹又螭龍ナク。渴筆寫意ノ趣ヲ擬シテ、蕭々トシテ古色アルヲ此スル。一流ト稱ス。後人々々ニ仿ヒ、偽作

多クシテ、其氣象ニ巧ぶものナリ。とて其偽ニカケル者、亦ハ柄ト云フ。

野田氏 江戸住

奈良安親弟子

寛政

宇八ト稱ズ。志ヲ成ルニ及ビ、其志未ダ成ラズニシテ、

乃チ、上ノと賞セラルルニ、厭ナリ。志魚尾ト云フ。

津田氏 加州金澤住

実名未詳。素村盛明弟子

尾崎氏 京島山町住

喜世三郎

江戸なる森太夫ト孫ヲ傳フト改メ、森太夫ト改メ、

中路氏 京師住

俗稱未詳。大躰ノ作ナリ。彫刻ニ巧ム。銅ノ器、

其ノ目費ナク、又、其ノ

井上氏 京麩屋町二条上町、三文字屋ト云

喜兵衛

喜暉

姓氏俗稱等未詳。亦不知何許人。

喜兵衛

喜暉

姓氏俗稱等未詳。亦不知何許人。

喜八

九山氏

京上立賣室町東へ入所ニ住

喜七

藤木氏

京柳通次ニ住

喜三郎

中路氏

京師人

喜兵衛

清水弥兵衛

弟子小刀柄并下地工磯野氏

興成

堀江氏

稱弥十郎號一技軒江戸西紺屋町住

興道

尾崎孫左衛門

弟子分若手として上りし時岡氏

孫助と稱保井壽秀弟子

武工連容と銘も俗稱居所等未詳

連容

蓮澄

片岡蓮澄道人と銘も俗稱居所等未詳

武

武

禪

墨江氏名寛心月ト號ス大阪船町住浪華船頭与兵衛作ト銘スルアリ後莊藏ト稱シ今祝髪

毛彫の上手として一流の彫なり画越とくく画を

以て名あり故に下繪自由として一入又事なり

宗珉風として知らず家風としていふ風流なる彫也

武教画

久保氏

江府住ト銘ス江戸淺草並木ニ住ス後

金兵衛と稱む後重基と名乗る

武道

京師住

宇兵衛と稱む鉄屋傳兵衛治國弟子なり

源

源八

水野氏 加州金澤住

名乗未詳好榮子なり。比人早世と云ふ聲

譽あり。其弟源七も夭折して共々上手なり

遺骸少くも

源左衛門

後藤氏 作州津山住

実名未詳と云ふ與四郎と云ふ

源兵衛

植村氏 京御池通寺町西へ入所住ス
升屋ト云フ

実名未詳宗峯弟子

源助

正阿弥 備前岡山住

高

高高廣

保井氏 京都住 拍屋ト云フ

平右衛門と稱む。池柳軒と銘あり。壽秀子

高長

保井氏 同上 拍屋ト云フ

虎平と稱む。風香と銘あり。早世と云ふ。高廣子なり。

古川佐兵衛弟子

高房

植村氏 京御池敷屋町西へ入

俗稱升屋九兵衛と云ふ。宗峯長子

仁

仁兵衛

宗田氏 京都住 納子又白銀工

仁左衛門

同上 同上

源高仁

源高仁

同上

源高仁

就 受 寿 理 忠 氏 江戸湯島住

加治右衛門と稱む一流の金四郎一チガ子地金チガ子より鍍メッキ金キもあつくかけてまうそがサビなどサビ舊ありて賞シラウを
はよとたり加治右衛門と名代揚アゲり事コト柄
とすべし

就 方 舟 同上就受子

茂 周 町田氏稱金藏江戸京橋住

茂 則 父茂周ト云ヒラ宗與弟子ナリ 江戶品川住

茂 保 井上氏 京都住

文次郎と稱む三文字屋三郎左衛門乃未なり

彦 彦 四 郎 平田氏 江戸湯島六丁目 御七寶工

今七寶シツホウと稱むものハシツ海外ウチノより来り候キコトも
して七寶シツホウといは方カタを名附ナヅケして正名セイメイありの
なりナリ。隋帝スエイの七寶シツホウ碗ワンとシツハ七種シツジュハ寶玉ホウジュなる
べし。所謂イハニル七寶シツホウハ金銀琉璃ルリ頗梨ハハリ車渠クルマ瑪瑙マノウ珍
珠ジュ乃七種シツジュをシツ但タし七種シツジュをシツあつめてタ工タめるとタおね
よそシツ成りて七寶シツホウと名附ナヅケるやシツまシツばシツ近シツ世
我邦ワカクニ又オ於オそオらオれオ我ワ作サるサ人ヒト多タしタとタすタもタまタへタは
人ヒト又オあオらオぶオりのオあオしオはオ父ヒトのヒト作サるサ所トコロ船フネ来キれキのキ
よヨもヨまヨらヨうヨとヨんヨんヨ奇イユウ工コウとイユウすイユウべイユウしイユウ

彦四郎 若林氏 越中富山住

実名未詳。隔水子カクミヅコより上より。くらのイチノイカ一名家

彦左衛門 後藤氏 作州津山住

実名未詳。上より

彦助 市川氏京師人。世ニ彫物ノ元祖ト云。詳九ノハ。後編論ゼリ。故ニ此ニ畧ス

榮藏 姓名未詳 阿州徳島紙屋町住

榮次 同上 江戸住

三郎左衛門 黒瀬氏 京上立賣烏丸西ノ入所住

実名未詳。後孫采女ウチメ益信ニスノラの兄清乗光の弟子也

三郎右衛門 山中氏 後藤益乗弟子

其彫甚く尺事より上より

三郎左衛門 井上氏 京都住

実名未詳。三文字屋の先祖として。一流の彫物師なり。御池彫オイケホリより。蓋京ケタシ都御池通に住む

三友 姓氏等未詳 江戸住

三郎兵衛 後藤氏 京師住 上手

善四郎

結知氏 按結知ノ字、姓氏ニテイカ、ヨムニヤ、未詳。薩州人 京後藤、弟子ニテ頭、兼ノ時代ト云

善長

古川氏 京師人 上手ナリ

佐兵衛と稱ぶ。後藤隆兼弟子なり

初野田忠成ノ子

善兵衛

知機氏 薩州人

善敦

藤木氏 京都住

善五郎

齋藤氏 大坂瓦町御、灵筋角

木彫りて目貫、鐸か、紙作る。人奉なり。又堆朱彫も及こたり

傳三郎

金子氏 越中、富山住

傳七

後藤通兼弟子 正阿弥 羽州秋田住

傳十郎

後藤氏 越前片町住 子モ同ク傳十郎ト云

傳八

宗田氏 京師住 徳直弟子 納子師

傳兵衛

中村氏 京室町上立賣下所住 清水弥兵衛弟子

傳三郎

横谷氏 名友武 當代宗珉弟

七郎兵衛

川村氏 後藤覺兼弟子

七兵衛

姓名未詳 京富小路松原下所住

象眼師として甚ご上りなり。因て世又象七と呼びて、その名少えたり

貞 貞歷 駒井氏 加州金澤住

甚右衛門と稱す後藤久清弟子あり

貞 貞次 藤田氏 江戸住

貞 貞隣 姓氏未詳 同上

貞 貞芳 同上 阿州人

勘 勘平 西垣氏

勘 勘四郎 同上

勘 勘左衛門 同上 勘四郎子

右共又肥後國任代と相續む

豊 豊前 吉岡氏 江戸兩國柳橋住 御金具工

因幡介父よりして上子なり 鑿の痕さるるなり

勢成とせ奇藤と志月とを所なり

豊 光 後藤氏 加州金澤住

松三郎と稱む光章弟なり 能登後藤末流

平 平右衛門 保井氏 京都住

拍屋のえ祖なり 上減金物細工人

平 助 正阿弥 作州津山住

実名未詳 初平七とよ吉久子なり

義次

埋忠氏

播州明石住

義局

吉川氏

居住未詳

義休

加藤氏

京富小路八幡町住

治之傳と稱む。古川善長弟子なり

義克

中川氏

作州津山住

甚兵衛と稱む

義隨

檜山氏

號田龍齋

江戸住

義光

金子氏號怒元

紀州住

上手ナリ

義儀

吉之丞六代孫

清水氏

京風爐通次住 下地師

儀右衛門

木村氏

京都住

京後藤勘兵衛弟子

典昌

荒井氏稱小三郎

江戸横山町三丁目住

荒井典容の子にて。ごんごうと稱む。縁頭
又鎌小目白れねあひ或ハ南瓜様のをドウガク
乃作甚ぶねろ

典休

葛野氏

清次と名乗。後源光孝弟子

多多光

水野氏

加州金澤住

源六と稱む。照喜弟なり。水野氏と稱む。別居

多兵衛

尾州名古屋元重町住

象眼工

又 兵衛 宗田氏 京師住 納子師 納子ノ元祖ナリ

又 左衛門 同上 納子師 後入道シテ道清ト云

又 兵衛 同上 納子師 後入道シテ道意ト云

又 七 姓氏未詳 尾州名古屋住

又 三 同上 大坂常磐町骨屋町住 鏝工上手

甚 甚 右衛門 後藤氏 能州七尾住

実名未詳。琢乘弟子より上りて。上より。母より能登後
孫より是なり。後加。加。金澤又住

甚 七 高尾氏 加州金澤住

実名未詳。若林氏春此風を学ぶ

庄 庄 左衛門 野村氏

庄 兵衛 後藤氏 能州七尾住

実名未詳。甚右衛門弟なり。琢乘弟子より。琢乘
京へ帰るとして。京師より。留。尾州紀。あり
と寓居せし事あり

庄 兵衛 後藤氏 尾州名古屋住

庄 三郎 姓氏未詳 常州水戸住

実名未詳。上よりなり

庄 兵衛 佐々木氏 京師住

庄 右衛門 京後藤勘兵衛弟子 京金安町住 小山氏

次次大夫 小澤氏 加州金澤住

実名未詳後越中富山御物の細工人となる

次大夫 同上 越中富山住

次三郎 玉川氏 常州水戸住
美壽子

次郎兵衛 石川氏 江戸神田住

次左衛門 後藤氏 上京住
上手

彌兵衛 岸本氏 京元誓願寺掘川住
現在

実名未詳京後藤七郎右衛門弟子上手

彌市 尾州名古屋住
姓氏未詳

彌右衛門 中村氏 京御灵通次
京後藤七郎右衛門弟子

幸左衛門 加場山氏 薩州鹿子島住

幸次 三角氏 肥後八代住
彫物上手

幸良 奈良氏 江戸淺草三間町住
奈良正敷弟子 幸芳上モ切

幸光 姓氏未詳 江戸住

清乗此風を擬して雲龍がどが彫る

幸七 磯部氏 京上立賣室町西入

幸助 井上氏 京新町一條下ル所住
清水弥兵衛弟子

幸右衛門 苗村氏 京烏丸今出川上ル所住
一條平井弟子

養子録 卷之四 次彌幸

半

半七

知機氏

薩州住

善兵衛子ナリ

半十郎鵞

川上氏

阿州徳島紙屋町ニ住ス
名ハ晴ト一字銘ナリ父今英ト云

彫物白銀師トモト甘ゴト上ヨナリ

半助

河野氏

同上

元祖河野半兵衛ト云テ栗山左源太ノ弟子ナリト云
右半助弟子ナリ

半藏

五

五郎兵衛

井上氏

京麩屋町ニ條下ル所ニ住

三文字屋ト云フ

五郎兵衛

姓名未詳

大文字屋ト云

京柳馬場六角下ル所ニ住ス

鐸工ナリ其屋號を合せて世ヨ大五郎鐸ト賞せ

了秋此野ニ虫盡式ハ紋ゾ一又ハカスミ

な中ノ小透乃鐸を彫事甚ゴクハシクしてス

事ナリ一流ト云

五郎右衛門

鵜飼氏

大阪追手筋善菴筋西ニ住ス

釜調ニ毛彫等ヲ教レ人ナリ

新

新吾

平田氏

阿州徳島紙屋町ニ住ス 象眼師

新助

平田氏

同上

同上

新七

姓氏未詳彫物屋新七ト云

大坂追手筋善菴筋西入所ニ住ス

釣竿又年魚此目黄小刀柄等作おりる

八

兵衛

齊田氏 京武者小路室町西へ入住
後藤益乘弟、子ニテ名入ナリ

八郎兵衛

藤田氏 加州金澤住

八左衛門

宗房弟 京一條西洞院西へ入所住

八郎兵衛

後藤氏 上京住

時

時定

姓氏未詳 加州金澤住

平八と稱ど、寛永の頃、伏見より移る。祿三百石

時秀

加藤氏 京師高倉姊小路上ル所住

治助と稱ど、義休弟子なり

因

因幡

吉岡氏 江戸兩國柳橋住

甚ど上りて、其名高

因幡介

吉岡氏 同上 現在

豊前子として上りたり。家凡と似るがごとく

し、てまうび色、絵かど金を施し、事哉を

まがず、所謂らう仕立として、まがず又事之ハ

ら振乃花此ゆべハ、こくにハ、ひ濃がごとく

藤

藤兵衛

八木氏 京御灵辻子住

藤七

清水弥兵衛弟、子 京富小路二條下ル所住

藤右衛門

同、上 京麩屋町押小路上ル所住

長則奇賞

卷之八時因藤

十一

一宮

美 美壽

王川氏 常州水戸府鍛冶町 任後江戸至リ
浅草ニ住セリ

三郎四郎と稱を。谷田部通壽弟子後吉原
因幡介成師とを。水戸様内扶持人なり。江
戸へ至りては内扶持成下りて一もやあつた
上りなり

美 久馬

玉川氏 常州水戸鍛冶町裏五丁目住
美壽甥ニシテ弟子ナリ又通壽ニ後フ

太七と稱一如英軒と號を。以人龍を彫り上
りたり。おとそ工人に龍成作ら奉ら必むそ勢
成尚ぶあり。昔葉公童と画く事成るのそ
其室中をめぐくれば画一に真龍聞く

天より下りてれど。葉公入て大におそき
まじり。と。莊子は筆を以てハ葉公の好む
所ハ其龍あり。画成して画龍よりて勢あり
を工に活動と云。今彫工は於てもまじり。そ勢ハ
彫琢ありて。龍よりてあり。そ勢ハ
依を工人の真龍と云べし

補 七郎兵衛

後藤氏 上京住

遺 七五郎

姓名未詳 京柳馬場押小路上ル所住
升屋忠左衛門弟子

安右衛門

小森氏 上京住
後藤勘兵衛弟子

安房

平田氏 稱市左衛門 象眼鐸師也
阿州徳島紙屋町住 平田氏四代目ナリ

長洲奇賞

美

補遺

七日冬

安長

内田氏 江戸住

至テ手ツヨキ彫ナリ 装劔家ニテ武士向ト云フ作ナリ

久隨

〔註〕

姓氏等未詳

號不知堂

江戸住

久次

姓氏等未詳

長州萩住

仁兵衛

同上

京二条御幸町

平右衛門

後藤氏

大坂住

庄兵衛

姓氏等未詳

江州膳所住

政信

〇

金子氏

居任未詳

友之

△

中井氏 稱善兵衛

長州萩府細工町住

甚助

赤尾氏

越前住

装劔音賞卷之四終

